

前橋市市制施行130周年記念

リーディングシアターフェス2022 INマエバシ

READING THEATER FES 2022 IN MAEBASHI

原作
脚本
演出

萩原葉子「父・萩原朔太郎」より

『朔太郎を悩ませる女たち』

リーディングシアターフェス2022inマエバシ(第6弾)

2022年12月25日 SUN 13:00~&15:00~開演
※入場は開演の30分前です。

前橋文学館3階ホール

電話予約 お問い合わせ 027-235-8011

定員:各回50名

観覧料:500円(当日支払)

主催:前橋文学館 協力:NPO法人波宜亭倶楽部

出
演
田村 真吾
大島加代子
井上美佐子

ミヤビミカド (劇団Dice)
見城 由香 (劇団ザ・マルク・シアター)
淺原 美佐 (劇団ザ・マルク・シアター)



前橋文学館
供原朔太郎記念・水と緑と詩のまち



出 演



田村 真吾

高崎出身、ライブハウスでパフォーマンスをする傍ら2009年から6年間劇団ザ・マルク・シアターに所属し役者として出演。2017年、天才ヒポザウルスのプロデュース公演の出演を最後に活動休止。現在は子供の寝かしつけに読み聞かせをしながらそのまま一緒に寝てしまう一児の『父』。



井上 美佐子

当地に越して20年余りの関西人。遅過ぎた表現活動の開始は自己再発見となり、劇団との出会いの幸運に感謝。声に依る表現に役立つか、目下は謡曲の修行中。本日は「老婆の窮日」とならぬよう祈りつつ努めます。



見城 由香

学生時代にミュージカル三昧の青春を送り舞台の魅力に目覚める。いったん普通の大人に戻り、ウン年のブランクを経て2019年より劇団ザ・マルク・シアターに参加。型にはまらない振り幅の広い役者を目指して日々奮闘中。劇団公演のチラシデザインも担当。



大島 加代子

大学在学中より劇団「東京壱組」に所属し、舞台やTVドラマ、CM、映画などに出演。群馬では数々のミュージカル作品に参加。現在はYouTubeにて「演劇ユニットコトリ」として活動。オンラインミュージカル「走れ!特急ひたち号」公開中。



ミヤビミカド

ボーカル・声優・イベントMC・ボイストレーニング等、「声」の分野で幅広く活動。現在は地元群馬を拠点に、自身の出演の他、歌や芝居の基礎レッスン、こころのワークショップ、ライブイベントを主催。Diceエンターテイメント代表。



浅原 美佐

劇団ザ・マルク・シアターの舞台に立って10年。役者だけでなく制作、会計、受付、道具製作などいろいろな事に挑戦させて頂いています。良い舞台をお客様に見て頂けるよう、日々精進して参ります。

不世出の詩人 萩原朔太郎を取り囲む女たちは、愛するがゆえに求め、報いようとする為に傷つき、守ろうとするために怒り悲しむ。

そんな女たちの言動や行動を、悪しきに罵ることをせず、すべてを受け入れながら苦悩する父・朔太郎の姿を、静かに観察し、懸命に理解しようとする長女の萩原葉子さんが執筆した「父・萩原朔太郎」の中に、詩人ではなく、人間としての朔太郎を抽出しリーディング形式でご鑑賞いただきたい。

また、これを機会に、是非、原作をお読みいただきたい。

「父」～朔太郎を悩ませる女たち～

原 作 萩原 葉子「父・萩原朔太郎」より
脚本・演出 生方 保光

〈スタッフ〉

舞台監督 大月 伸昭
大道具: 鈴木ひかり
音響: 石倉早百合、川田佳花
照明: 鈴木乃伍
撮影録: 大久保武
衣装: 鈴木ひかり
広報: 見城由香、堀口知子
受付: 篠原和江、前原明博
制作: 大月伸昭、浅原美佐、鈴木ひかり

劇団ザ・マルク・シアター HP&SNSにて
最新情報更新中!!



@mrk_vine

@maruku_gunma

@marukutheater

<https://marukutheater.jimdofree.com/>

予約方法

お申し込みは各回共、公演日の前月最初の日曜日から
前橋文学館 027-235-8011まで

※ご予約は先着順となります。※入館に関しては、マスク着用等の感染対策をお願いいたします。※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催内容等に変更が生じる場合があります。ご来館の際は事前にホームページ、もしくはお電話にてご確認ください。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館

TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512

<https://www.maebashibungakukan.jp>

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10



※広瀬川サンワパーキング（市営P城東）のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

前橋文学館

